

平成22年度第1回鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会
会議録

1 日 時 平成23年2月15日(火) 午前10時から午前11時

2 場 所 市役所6階 第1・2委員会室

3 出席者

(1) 出席委員

吉野 良一 委員、篠原 勝 委員、小寺 辰男 委員、
目黒 哲 委員、富田 直 委員、皆川 清隆 委員、
小林 宏 委員、大竹 守夫 委員

(2) 欠席委員

新井 和人 委員、中村 好一 委員、大道 等 委員、
熊谷 利和 委員、吉村 和久 委員

(3) 事務局

稲生市民生活部長、田中安全対策課長、伊藤安全対策課主幹、
萩原安全対策課主事

4 傍聴者 0人

5 議題等

(1) 議題

- ア 会長、副会長の選出について
- イ 会議公開について
- ウ 会議録の作成について
- エ 会議録署名委員の選出について

(2) 報告事項

犯罪発生状況について

6 会議の概要

(1) 議題

鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会委員への委嘱状の
交付に引き続き、委員の過半数が出席し、会議が成立したので、以下のとおり
会議を行った。

ア 会長、副会長の選出について

鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会規則(以下「規則」
という。)第4条の規定に基づき、委員の互選により、会長については次のよ
うに決定した。

会長 吉野 良一 委員

会長を決定した後、規則第5条の規定により会長が会議の議長となり、議事
を進め、副会長の選出について、規則第4条の規定に基づき互選により、次の

ように決定した。

副会長 篠原 勝 委員

イ 会議公開について

会議公開については、これまでと同様「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」のとおり、原則公開に決定した。また、傍聴を認める定員については、会議室の都合もあるため、原則5名とし、先着順で決定した。

ウ 会議録の作成について

会議録は、これまでと同様、要点筆記方式とし、「鎌ヶ谷市における審議会等の会議の公開に関する指針」第7のとおり、会議の名称、日時、場所などを記載するものとした。

エ 会議録署名委員の選出について

会議録署名委員の選出については、名簿順に会長、副会長を除いて、会議ごとに2名ずつ選出することとし、本日の会議においては、小寺委員及び目黒委員に決定した。

(2) 報告事項

犯罪発生状況について

ア 事務局の説明

事務局より、資料1の「刑法犯の認知件数について（千葉県全体、鎌ヶ谷市）刑法犯認知件数の推移（平成12年から平成21年中）確定値」を基に概要を報告した。

イ 質疑等

○ 委員より事務局へ

質問1 鎌ヶ谷市の犯人検挙率はどのくらいか。

⇒ オートバイ盗や自転車盗については、犯罪傾向が変化してきており、自宅敷地内に入って自転車を盗んでいく場合や、駐輪場で業者を装い、トラックにかなりの台数の自転車等を積み込み盗んでいく場合もあると聞いている。また、ひったくりについては、1人検挙すると取調べで100件以上の余罪が判明する事例があると聞いており、鎌ヶ谷市の犯人検挙率については、鎌ヶ谷警察署に確認してみないとわからないのが現状である。

質問2 資料1より、平成22年鎌ヶ谷市の自転車盗の件数は390件とのことだが、この件数は、警察への届け出の件数なのか、それとも盗まれた台数なのか。

⇒ 実際に警察に届け出た件数である。届け出ない人も多くいると聞いている。

質問3 今回、オートバイ盗や自転車盗が増加した理由はあるのか。

⇒ オートバイ盗や自転車盗については、盗難のプロが犯行に及んでいることもあるらしく、この場合、鍵掛けの有無に関係なく盗難に遭うと聞いている。このようなケースが発生しているのも増加の要因の一つに考えられるのではないか。

市としては、平成22年12月に鎌ヶ谷駅で防犯キャンペーンを行い、防犯グッズを配布して、2つの違う鍵を取り付けるよう呼びかけるなどして、防犯意識の向上に努めた。

○ 委員より報告

報告1 放置自転車を業者が回収し、リサイクルした時に、自転車防犯登録の抹消が適切に行われず、次の所有者が防犯登録すると、二重登録になってしまう事例が起きた。

報告2 ひったくり犯は時間、場所、逃げ道等を想定している。警察が追跡出来ないよう、一方通行を逆走するなど逃走経路を考えている。

鎌ヶ谷市のひったくりが多い理由として考えられるのは、犯人が他の警察署管内に逃走してしまうため。

高齢者の年金が偶数月の15日に支給されるため、犯行に及びやすい。

侵入盗は被害者に直面すると強盗や殺人に発展してしまう可能性があるため危険である。また、盗んだオートバイで第2、第3の犯罪を起こす可能性がある。

報告3 団地の駐輪場にトラックがやってきて、自転車が何十台も盗まれる事件があり、住民は放置自転車の回収と勘違いし、傍観していたという事件があった。

7 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 資料1 刑法犯の認知件数について（千葉県全体、鎌ヶ谷市）刑法犯認知件数の推移（平成12年から平成21年中）確定値
- (3) 資料2 鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進に関する条例及び各種指針
- (4) 資料3 鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会規則
- (5) 資料4 鎌ヶ谷市犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会委員名簿

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成23年3月10日

署名人 目黒 哲

署名人 小寺 辰男